

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年3月30日

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C		
横断的な課題	地域の特性を活かしたサステナブルなまち・むらづくりへの支援						
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名	脱炭素社会に向けた木工製品等普及拡大事業				電話	0263-40-1926	
					E-mail	matsuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	身の回りの生活用品等を人工素材から木工製品へ転換する「ウッドチェンジ」の啓発を継続して行っていくことで、県産材を使った木工製品等の需要拡大を目指すとともに、2050ゼロカーボンの実現を推進する。					
	現状と課題	<p>ウッドチェンジ推進のため、これまでに、管内での木工製品の展示(R3)、松本地域の木工製品パンフレットの作成・配布(R4)、首都圏で開催される木工製品の展示・商談会への参加(R5・R6)を実施してきたところ。</p> <p>木工製品には、金属やプラスチック等の人工物にはない温かみを感じ、わたしたちを豊かな気持ちにさせてくれるという良さがあり、その点については、コロナ禍を経て高まった自然回帰志向や、環境に優しく持続可能な新しいライフスタイル・価値観の中で、多くの人々に好意的に受け入れられてきた。</p> <p>木工製品への関心を一過性のものとして終わらせないためにも、木工製品及びウッドチェンジの普及啓発活動を続けていくことが、県産材の需要拡大や脱炭素社会の構築のために必要である。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>松本地域発祥の身近な物品のウッドチェンジの好事例として、県産材で製作された木製パイロン「KOLMIO」(レッドハウスファニチャー(朝日村)、ウッドデザイン賞2024ハートフルデザイン部門優秀賞(林野長官賞)受賞)を、林務課が参加する木工製品関連イベントや、県が県民向けに実施するイベント、更には、多くの県民が利用する県有施設で使用するにより、木工製品及びウッドチェンジのPRを行う。</p> <p>●林務課参加イベント(予定) 木育フェスティバル(9/20-21、昨年度来場者数約3,000人)、木材利用促進月間展(10/6-31、今年度初開催)、森のフェスティバル(10/11、昨年度来場者数約500人)、WOODコレクション2026(2/12-13、昨年度来場者数約6,000人)</p> <p>●ウッドチェンジPR(KOLMIOの設置) パイロン10個、バー6本を購入。松本合同庁舎玄関ホール・県民ホールへの設置、林務課参加イベントでの展示の他、他所属への貸出しを行う。</p> <p>●県産材利用推進PR(業者へのステッカー配布) 松本地域の木工業者(木工製品パンフレットに掲載の業者及びNAGANO WOODポータル登録業者)に県産材使用推進PRステッカーを配布し、イベント出展時等に商品(または商品タグ)に貼付してもらい、県産材を使った商品であることをPRする。</p>					
	事業期間	令和7年9月16日		～	令和8年3月13日		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考		
	ウッドチェンジPR	KOLMIOの設置		139,678	パイロン×10個、バー×6本		
	県産材利用推進PR	業者へのステッカー配布		25,278	小×1,600枚、大×700枚		
合計				164,956			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	林務課参加イベント来場者数			9,500人	11,450人	● 達成	
	KOLMIO活用件数			10件	11件	○ 一部達成	
						○ 未達成	
事業実績・成果	<p>●イベントでの普及啓発活動 木育フェスティバル(3,000人)、森のフェスティバル(150人)、あづみの里山市(200人)、つなぐ木のいのち展(1,000人)、WOODコレクション2026(7,100人)等のイベントに参加し、県内外の方々に松本地域の木工製品の魅力やウッドチェンジの大切さを伝えることで、県産材の需要拡大及び脱炭素社会実現への一助となった。※(カッコ内)は来場者数。いずれも主催者発表の数値。</p> <p>●他所属への木製パイロンの貸出し 松本地域振興局他、複数の所属から貸出し希望の連絡があり、説明会や研修会等のイベントで使っていただくことができた。松本空港とキッセイ文化ホールからは恒常的に使用したいとの申し出があり、11月から3月まで長期間にわたって設置したことで、多くの県民に対して松本地域の木工製品の魅力を発信することができた。また、松本空港では県民だけではなく県外からの旅行者に対しても松本地域の木工製品の魅力を発信することができ、県産材需要拡大の一助となった。</p>						
今後の方向性	今後も様々な機会を捉えて、関係機関と連携して松本地域の木工製品やウッドチェンジのPRを行い、県産材の需要拡大を目指すとともに、2050ゼロカーボンの実現を推進していく。今年度導入した木製パイロンについては、要望があれば引き続き他所属への貸出しを行い、ウッドチェンジへの機運を醸成していく。						